

国東市×商工会×双国校

「官・商・学」連携

地域ソーセイプロジェクト、再始動!



昨年、国東市、商工会、双国校が協力して、「赤鬼バーガー・青鬼バーガー」、「鬼おんちっぶす」を開発した「地域ソーセイプロジェクト」。ソーセイ(そうしなさい)、蘇生、創生の3つの意味が込められた地域ソーセイプロジェクトが、今年も新1年生を加えて再始動しました。商業実践力を磨き、地域活性化に貢献すべく、生徒みんなで新商品の開発に取り組みます。

4/ 17 19 22



今年のプロジェクトで双国校と連携するのは、国東ゴコク堂、国東七(クニサキセブン)、未来企業力レッジの市内3企業と、オートボックスセブン(東京都江東区)です。連携企業の自己紹介があり、続けて商品開発に向けての考え方を学びました。

4/ 22



連携企業の事務所や工場を見学し、企業への理解を深めました。昨年開発した「鬼おんちっぶす」の生産工程を見学する機会もあり、1年生はアイデアが実際に商品化される様子を興味深そうに見ていました。

5/ 10

これまで学んだことを踏まえて、双国校のオリジナル新商品を企画する作業に入りました。商品のネーミング、イメージ、ターゲットを考えていき、クラス内で発表を行いました。今後も企画内容を磨き、実際の商品化を目指していきます。



1年
大海 知奈さん



企業見学で、どの企業も自社商品が多くの人々の目に留まる工夫をしていることを学びました。また、先輩が行っている新商品開発の授業を見学しました。商品デザインの考案に苦勞しながら、アイデアを出し合っている姿を見ました。プロジェクトでは、先輩の商品開発に協力できるよう頑張りたいです。将来自分が就職したときに、新しいアイデアが浮かぶようになると思います。

2年
中島 希さん



国東半島にしかない「七島藺」を使った商品開発を目指しています。七島藺を見て、触れて、アイデアを考える作業を繰り返している最中です。とても難しい挑戦ですが、みんなで取り組むこの活動は、私たちらしさが発揮でき、とても貴重でやりがいがあると実感しています。開発した商品が皆さんの手に届き、「国東半島」を感じてもらえると嬉しいです。応援よろしくお願いします。

3年
佐藤 耕平さん



地域ソーセイプロジェクトを通じて、地元国東を盛り上げたいです。国東には素晴らしい場所、食べ物、文化、歴史があり、そして、そこに暮らす人々がいます。国東の“魅力”を広く知ってもらうために、まず高校生である僕たちが、その素晴らしさに気づき、理解を深めて、全校一丸となって取り組んでいきたいです。

今年も動き出した地域ソーセイプロジェクト。
どのような商品が開発されるのか、お楽しみに!

教育の里だより

今年度から市内全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定

平成27年度に安岐町の小・中学校、平成29年度には武蔵町の小・中学校、そして、今年度から国東町・国見町の小・中学校がコミュニティ・スクールに指定されました。
よって、市内のすべての小・中学校がコミュニティ・スクールになりました。

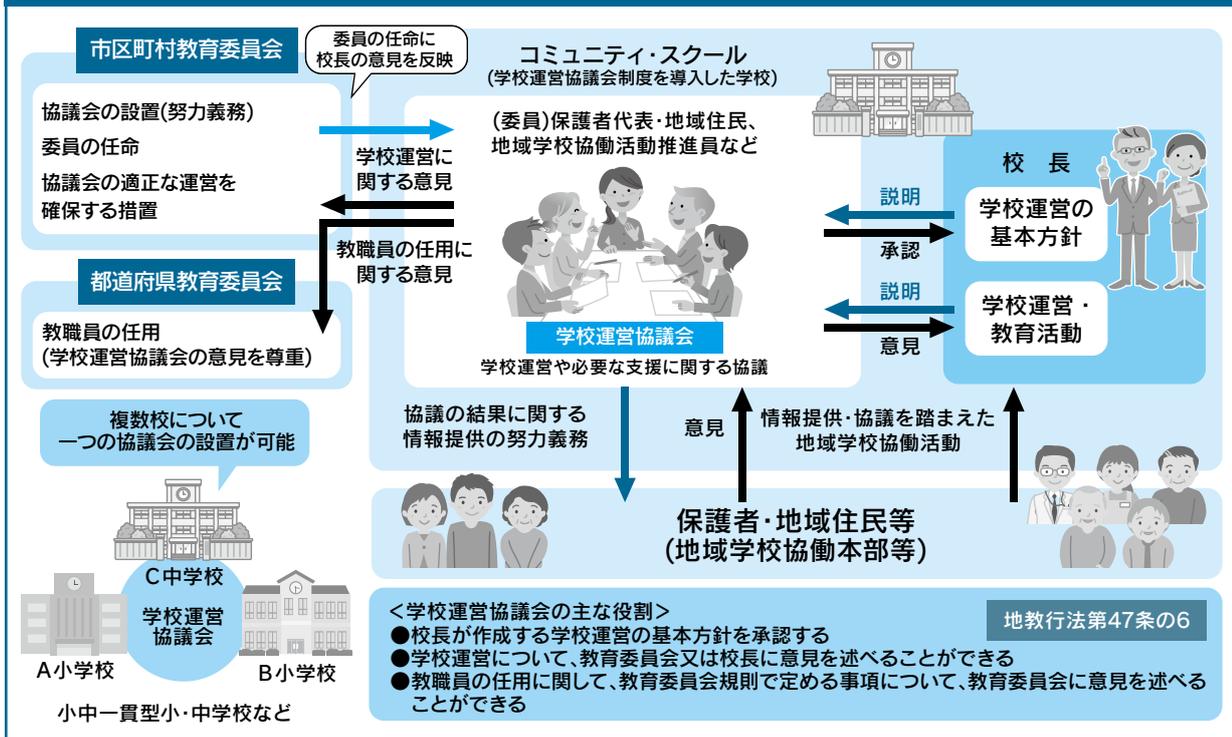
コミュニティ・スクールとは

学校と家庭と地域がパートナーとして連携・協働するために、「地域に開かれた学校」から一歩踏み出し、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民や保護者と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換する必要があります。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換するための仕組みです。この制度を導入することにより、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めていくことが可能となります。

子どもは地域の宝であり、国東市の宝です。ぜひ、地域や保護者のみなさんも学校と連携・協働して、将来地域を担っていく人材の育成にかかわっていただければと考えています。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が年々複雑化・多様化している現在、教育改革や地方創生等の動向からも、国を挙げて学校と地域の連携・協働の重要性が叫ばれています。

教職員は、教育の最前線で日々子どもたちと接することを通して子どもたちの成長に関わる喜びを感じることができる一方、勤務時間を超えていろいろな課題や仕事に対応させるを得ない現状もあります。部活動指導、教材研究、テストの採点、学級通信の作成、保護者対応・相談など、勤務時間外の仕事や家庭への持ち帰り仕事として対応しています。

子どもの教育を教職員だけに任せるのではなく、学校・保護者・地域がそれぞれの役割をしっかりと果たして、教育の最前線の教職員を支える仕組みづくり、そして教職員が健康でその専門性を十二分に発揮して質の高い授業や教育活動を担うことができる仕組みづくり、それこそが、今、国を挙げて推進しているコミュニティ・スクールです。

【問合せ】 学校教育課 ☎0978-73-0066